

社会資本総合整備計画 事後評価の要点

○社会資本総合整備計画とは

国からの補助金や交付金を活用して事業を実施しようとする地方自治体は、「社会資本総合整備計画」を作成し、国土交通大臣に提出する必要があります。

本市の下水道事業においては、令和3年度から令和7年度の5年間で整備計画を作成し、市街化調整区域の未普及地区における污水管渠整備を社会資本整備総合交付金に、また、浸水対策、地震対策及び長寿命化対策を防災・安全交付金に位置付けて、整備を行ってまいりました。

○事後評価とは

公共事業の実施に当たっては、効率的・効果的な事業の執行、その過程の透明性・客観性の確保、事業主体等による説明責任が求められることから、整備計画の事業期間終了時には、当初に設定した目標に対する実現状況等を評価することが義務付けられており、その結果を速やかに公表するとともに、国土交通省に提出することになっています。

○5年間の実績

防災・安全交付金により実施した事業

- ・ 浸水対策のための工事及び実施設計 N=4 箇所
- ・ 管路施設の地震対策のための工事 L=0.98 km
- ・ 管路施設の点検及びカメラ調査委託 L=58 km
- ・ 管路施設及びポンプ場施設の改築工事
（管路施設 N=131 箇所、ポンプ場 N=1 箇所）

資料2-1

社会資本総合整備交付金により実施した事業

- ・ 污水管整備のための工事及び実施設計 5 箇所

資料2-2

整備位置図

資料2-3

社会資本総合整備計画 事後評価書

資料2-1

計画の名称	厚木市における安心・安全な下水道事業計画（防災・安全）（重点・非重点）																																																																	
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）					交付対象	厚木市																																																											
計画の目標	・近年、多発する大雨や都市化に伴う雨水流出量の増加により浸水被害が発生しており、防災、減災のため雨水管渠を整備することにより被害解消を図る。 ・大規模地震時において、下水道の有する機能を維持するため、施設の耐震化を図り、地震被害の防災・減災を進める。 ・下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設の点検、調査、改築を実施し、施設全体を対象とした施設管理の最適化を図る。																																																																	
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道による都市浸水対策達成率を69.1%（令和3年度当初）から70.0%（令和7年度末）に増加させる。 ②下水道総合地震対策計画における、管路施設の耐震化率を54.0%（令和3年度当初）から56.1%（令和7年度末）に増加させる。 ③ストックマネジメント計画に基づく管路施設の点検、調査を0%（令和3年度当初）から100%（令和7年度末）に向上させる。 ④ストックマネジメント計画に基づく管路施設・ポンプ場施設の改築を実施する。																																																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="6">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th colspan="2">当初現況値</th> <th colspan="2">中間目標値</th> <th colspan="2">最終目標値</th> </tr> <tr> <th colspan="2">(R3当初)</th> <th colspan="2">(R5末)</th> <th colspan="2">(R7末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（面積A=3292ha）</td> <td>69%</td> <td>計画 69% 実施</td> <td>69%</td> <td>計画 71% 実施</td> <td>70%</td> <td>計画 73% 実施</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>②下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率 耐震対策を対応済みの管路延長（m）／耐震対策を対応すべき管路延長（L=32,284m）</td> <td>54%</td> <td>計画 54% 実施</td> <td>55%</td> <td>計画 55% 実施</td> <td>56%</td> <td>計画 57% 実施</td> </tr> <tr> <td>③ストックマネジメント計画に基づいた点検、調査の進捗率 点検調査済みの管渠の延長（m）／ストックマネジメント計画に基づいた点検、調査する管渠の延長（L=72km）</td> <td>0%</td> <td>計画 0% 実施</td> <td>46%</td> <td>計画 46% 実施</td> <td>100%</td> <td>計画 80% 実施</td> </tr> <tr> <td>④ストックマネジメント計画における長寿命化改築対応率 改築対応済みマンホール蓋（箇所）／改築を実施すべきマンホール蓋（N=229箇所）</td> <td>0%</td> <td>計画 0% 実施</td> <td>31%</td> <td>計画 31% 実施</td> <td>100%</td> <td>計画 57% 実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値						備考	当初現況値		中間目標値		最終目標値		(R3当初)		(R5末)		(R7末)		①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（面積A=3292ha）	69%	計画 69% 実施	69%	計画 71% 実施	70%	計画 73% 実施		②下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率 耐震対策を対応済みの管路延長（m）／耐震対策を対応すべき管路延長（L=32,284m）	54%	計画 54% 実施	55%	計画 55% 実施	56%	計画 57% 実施	③ストックマネジメント計画に基づいた点検、調査の進捗率 点検調査済みの管渠の延長（m）／ストックマネジメント計画に基づいた点検、調査する管渠の延長（L=72km）	0%	計画 0% 実施	46%	計画 46% 実施	100%	計画 80% 実施	④ストックマネジメント計画における長寿命化改築対応率 改築対応済みマンホール蓋（箇所）／改築を実施すべきマンホール蓋（N=229箇所）	0%	計画 0% 実施	31%	計画 31% 実施	100%	計画 57% 実施							
	定量的指標の現況値及び目標値						備考																																																											
	当初現況値		中間目標値		最終目標値																																																													
	(R3当初)		(R5末)		(R7末)																																																													
①下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（面積A=3292ha）	69%	計画 69% 実施	69%	計画 71% 実施	70%	計画 73% 実施																																																												
②下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率 耐震対策を対応済みの管路延長（m）／耐震対策を対応すべき管路延長（L=32,284m）	54%	計画 54% 実施	55%	計画 55% 実施	56%	計画 57% 実施																																																												
③ストックマネジメント計画に基づいた点検、調査の進捗率 点検調査済みの管渠の延長（m）／ストックマネジメント計画に基づいた点検、調査する管渠の延長（L=72km）	0%	計画 0% 実施	46%	計画 46% 実施	100%	計画 80% 実施																																																												
④ストックマネジメント計画における長寿命化改築対応率 改築対応済みマンホール蓋（箇所）／改築を実施すべきマンホール蓋（N=229箇所）	0%	計画 0% 実施	31%	計画 31% 実施	100%	計画 57% 実施																																																												
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,789 2,923	A	2,789 2,923	B	0 0	C	0 0	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0% 0.0%																																																								
事後評価（中間評価）																																																																		
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																																																																		
事後評価（中間評価）の実施体制							事後評価（中間評価）の実施時期																																																											
厚木市下水道運営審議会において実施。							事業終了後																																																											
							公表の方法																																																											
							厚木市ホームページ上にて公表																																																											

1. 交付対象事業の進捗状況																	
上段： 計画 下段： 実績																	
1. 交付対象事業の進捗状況																	
A 1 下水道事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
											R3	R4	R5	R6	R7		
A07-001 （重点）	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 （雨水）	新設	厚木市雨水管整備事業	L= 2.16 km	厚木市						2,031.0	計画
									L= 2.55 km							2,320.9	実績
A07-002 （重点）	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 （汚水）	改築	下水道総合地震対策計画 下水道総合地震対策	耐震化延長 L= 0.69 km	厚木市						92.0	計画
									耐震化延長 L= 0.98 km							64.6	実績
A07-001 （非重点）	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 （汚水）	改築	ストックマネジメント計画 管路施設の点検・調査	点検・調査延長 L= 72 km	厚木市						191.0	計画
									点検・調査延長 L= 58 km							162.6	実績
A07-002 （非重点）	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 （汚水）	改築	ストックマネジメント計画 管路施設の改築	改築マンホール蓋 N= 229 箇所	厚木市						51.0	計画
									改築マンホール蓋 N= 131 箇所							59.9	実績
A07-002 （非重点）	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 （汚水）	改築	ストックマネジメント計画 ポンプ場施設の改築	自家発電設備改築	厚木市						424.0	計画
									自家発電設備改築							315.3	実績
合計																2,789.0	計画
合計																2,923.2	実績

上段：計画 下段：実績

A1 下水道事業(詳細)

4

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		①下水道による都市浸水対策達成率 雨水管渠整備による浸水対策を実施し、都市浸水対策達成率の向上を図ることができ、目標値を達成した。			
		②下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率 可とう性継手設置及び耐震化改築工事を実施し、厚木市内における耐震対策の達成率の向上を図ることができ、目標値を達成した。			
		③管路施設の点検及びカメラ調査 ストックマネジメント計画に基づく、管路施設の点検及びカメラ調査を行った。			
		④管路施設及びポンプ場施設の改築 ストックマネジメント計画に基づく、管路施設及びポンプ場施設の改築を行った。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	自費工事申請件数が当初の想定を上回ったため、最終目標値を上回る結果となった。
		最終実績値	73%		
	指標②（下水道総合地震対策計画における耐震対策の達成率）	最終目標値	56%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成でき、下水道施設の耐震化を図り、地震被害の防災・減災を進めることができた。
		最終実績値	57%		
	指標③（管路施設の点検及びカメラ調査）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	カメラ調査費が想定よりも高額となり、計画期間内に目標に達成することができなかった。
		最終実績値	80%		
	指標④（管路施設及びポンプ場施設の改築）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	マンホール蓋の交換にかかる工事費が資材の高騰等により高額となり、計画期間内に目標に達成することができなかった。
		最終実績値	57%		
	Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）				
	3. 特記事項（今後の方針等）				
近年の局地的集中豪雨等により、整備済み区域において、浸水被害が発生しているため、対策施設の検討及び整備を推進する。 浸水被害が発生している雨水管渠未整備区域においても、次期社会資本総合整備計画に位置付け、継続的に整備を推進する。 下水道施設の老朽化対策については、策定した下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的かつ効率的に管理していく。 下水道施設の地震対策については、下水道の処理機能を確保し、緊急車両通行など交通機能の確保に必要な耐震化すべき施設の地震対策を推進する。					

資料 2-2

6

1. 交付対象事業の進捗状況																	
上段： 計画 下段： 実績																	
1. 交付対象事業の進捗状況																	
A 1 下水道事業(詳細)																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											R3	R4	R5	R6	R7		
A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	新設	第16（小鮎）処理分区汚水管	L= 1.000 km	厚木市						20.0	計画
									L= 0.000 km							18.4	実績
A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	新設	第15（依知第二）処理分区汚水管	L= 1.091 km	厚木市						160.0	計画
									L= 1.091 km							150.0	実績
A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	新設	第19（玉川）処理分区汚水管	L= 0.521 km	厚木市						100.0	計画
									L= 0.521 km							90.0	実績
A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	新設	第10（棚沢）処理分区汚水管	L= 1.269 km	厚木市						269.0	計画
									L= 1.269 km							253.7	実績
A07-001	下水道	一般	厚木市	直接	厚木市	管渠 (汚水)	新設	第9（依知第1）処理分区汚水管	L= 0.544 km	厚木市						169.0	計画
									L= 0.544 km							156.9	実績
合計															718.0	計画	
合計															669.0	実績	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道処理人口普及率を89%から90%に増加させ、公共用水域の水質保全及び生活環境の改善を図ることができ、目標の達成となった。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（市街化調整区域の汚水処理整備計画の策定率）	最終目標値	90.0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	90.0%		
II 定量的指標の達成状況	指標②（市街化調整区域の汚水管渠整備の実施設計の策定率）	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
改定予定の経営ビジョンとの整合を図りながら、汚水処理施設整備計画（アクションプラン）の見直しをしていく。					

社会資本総合整備計画(令和3年度～令和7年度) 整備位置図

